



新製萬國輿地圖説



亞弗利加洲總括
歐羅巴の内都尔格の補
亞細亞面を海岸の堡城
歐羅亞面を海岸の堡城
獨逸連合諸洲兵勢説

共六冊

ル 2
3287
4





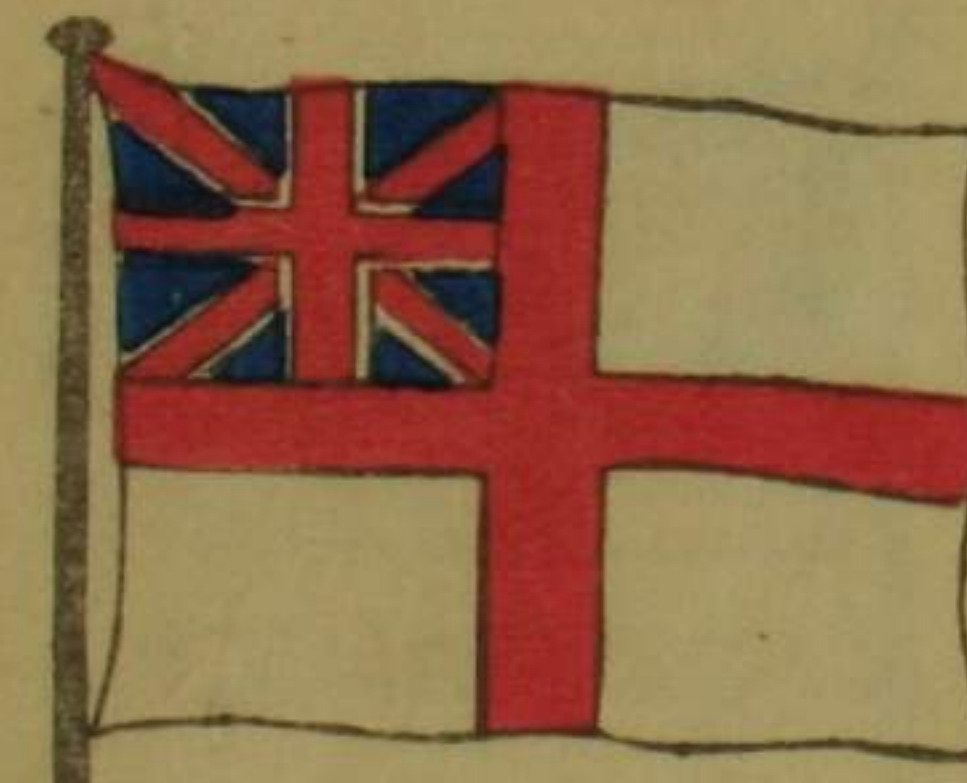



門牌
3287
第 4 卷

西洋人撰述譯本

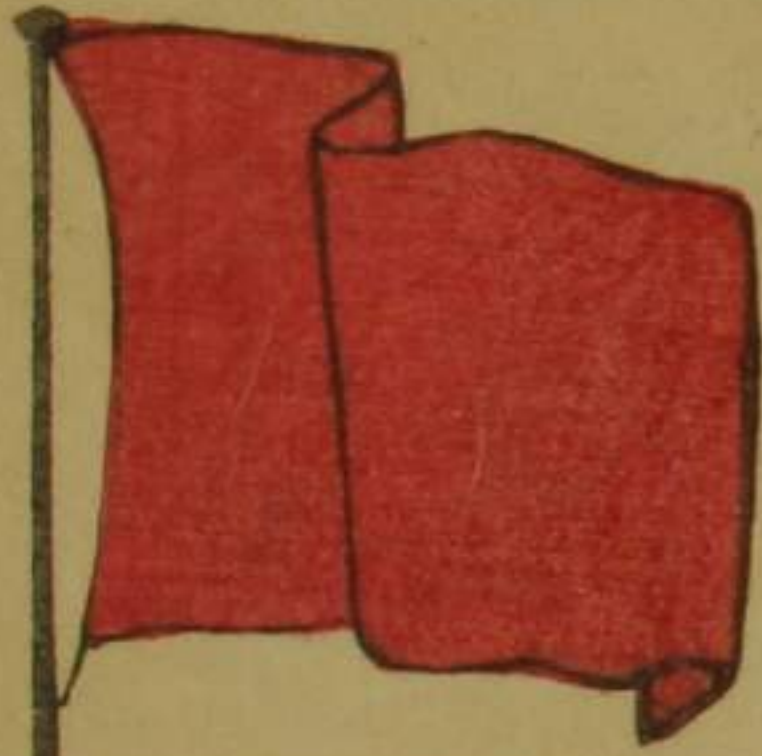
萬國輿地圖說



雲峯閣藏梓

<p>同 上 船 會 旗 館 手</p> 	<p>英 國 主 船</p> 
<p>同 上 白 備</p> 	<p>同 上 赤 備 即 大 總 督 旗</p> 
<p>同 上 商 船</p> 	<p>同 上 青 備</p> 

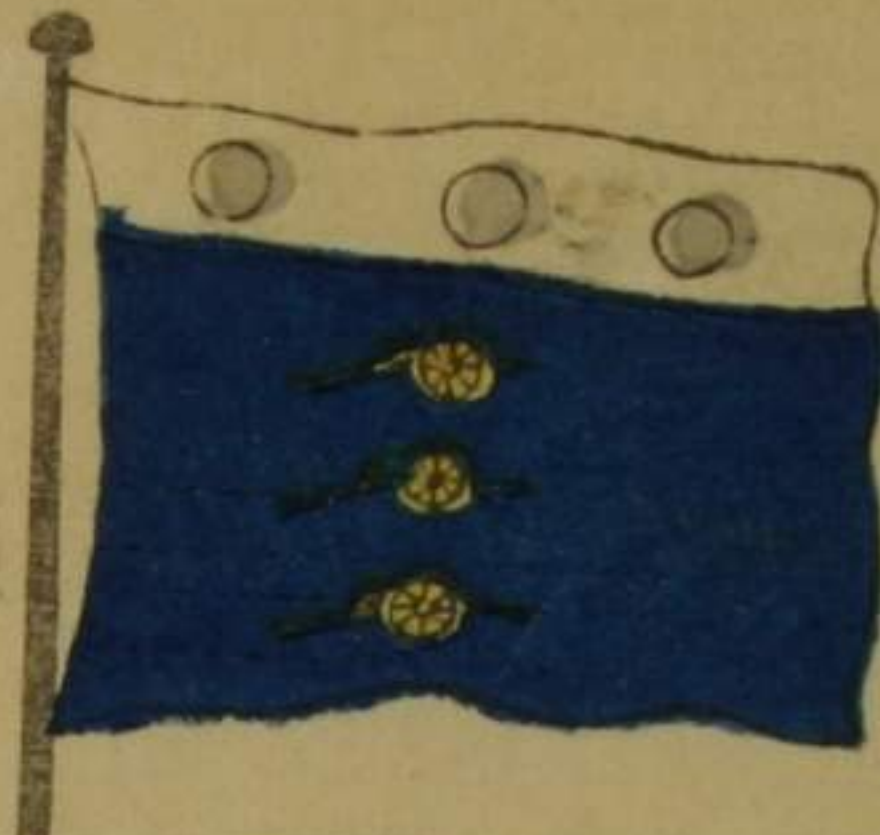
旗會隊船同上
館伍手



上同



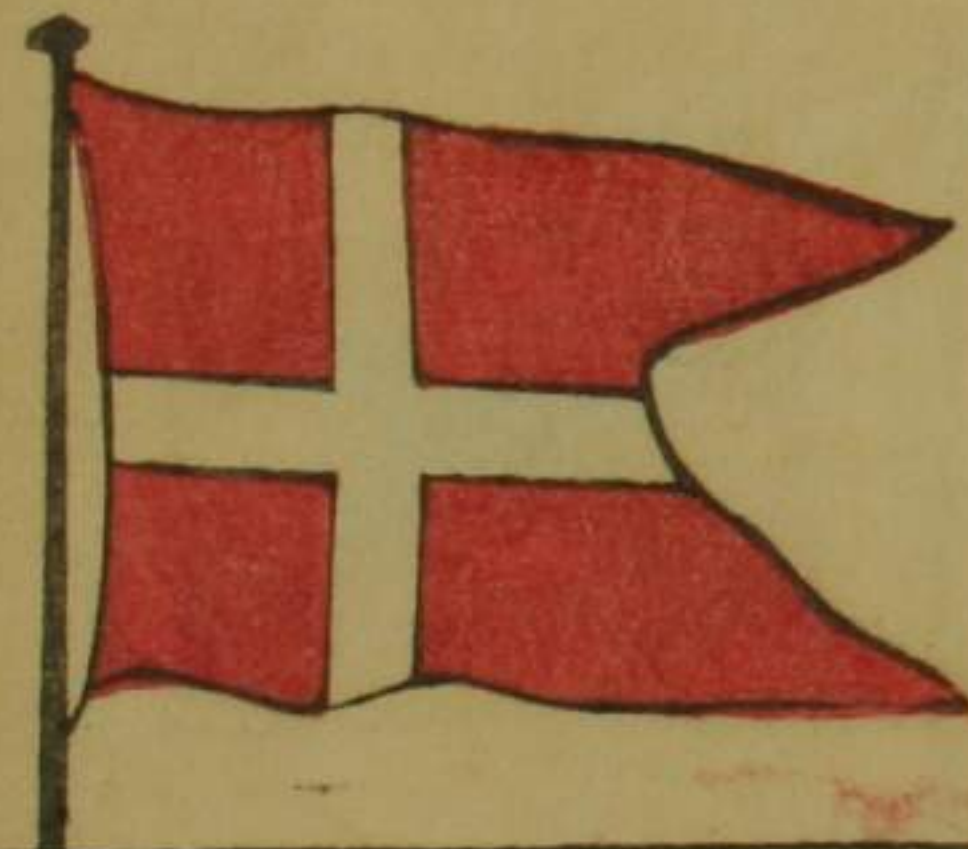
船令使上同



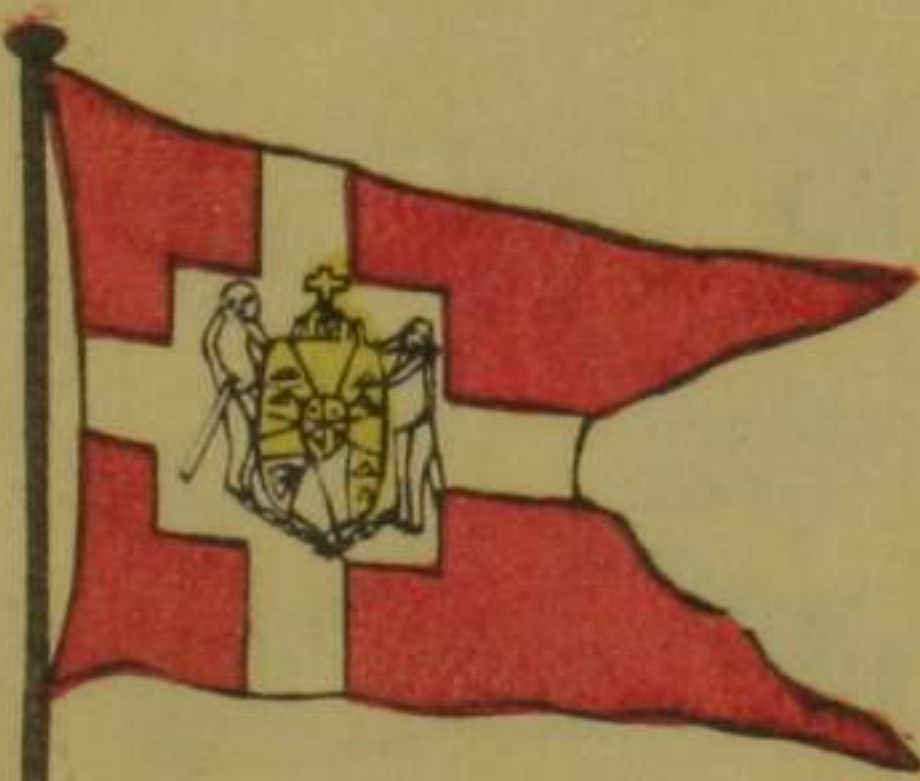
船手組 上同



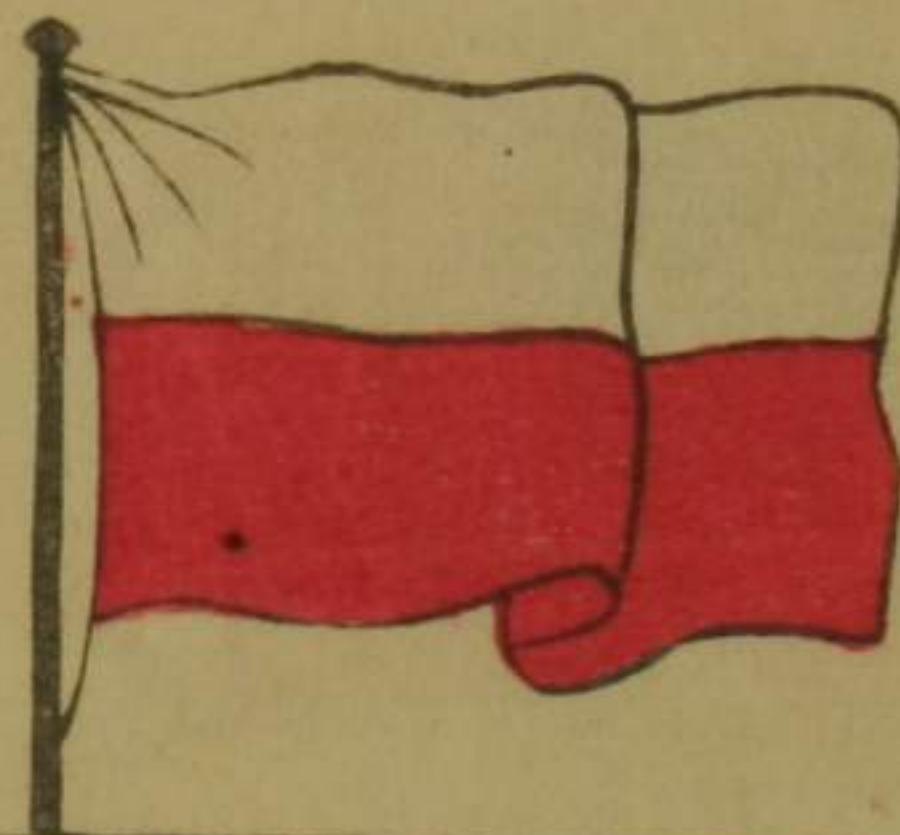
軍組船同上
艦即手



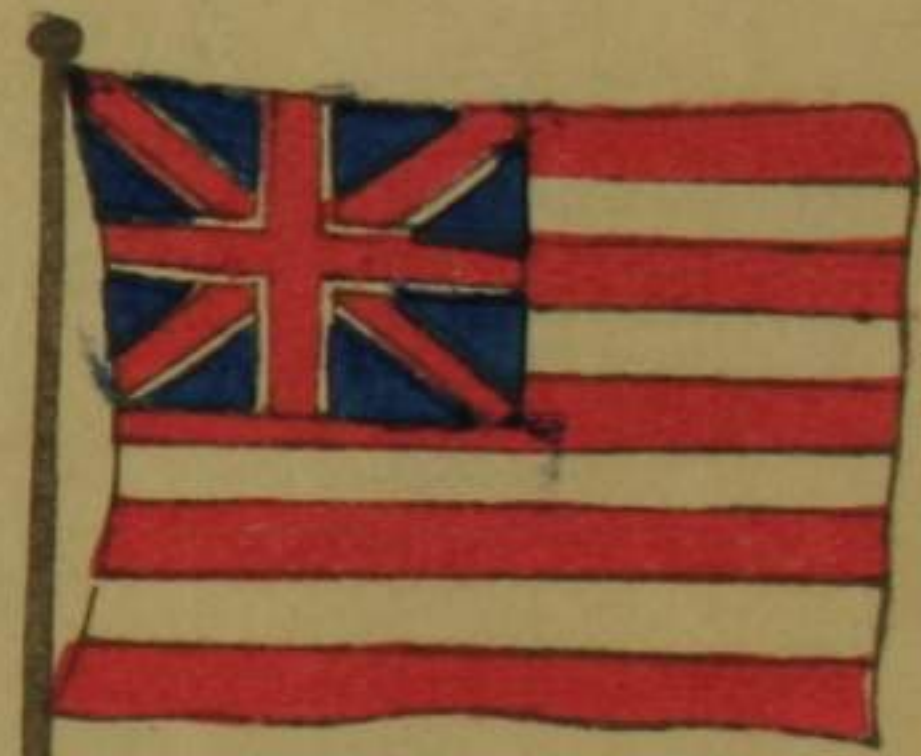
旗國力加爾瑪那第
王



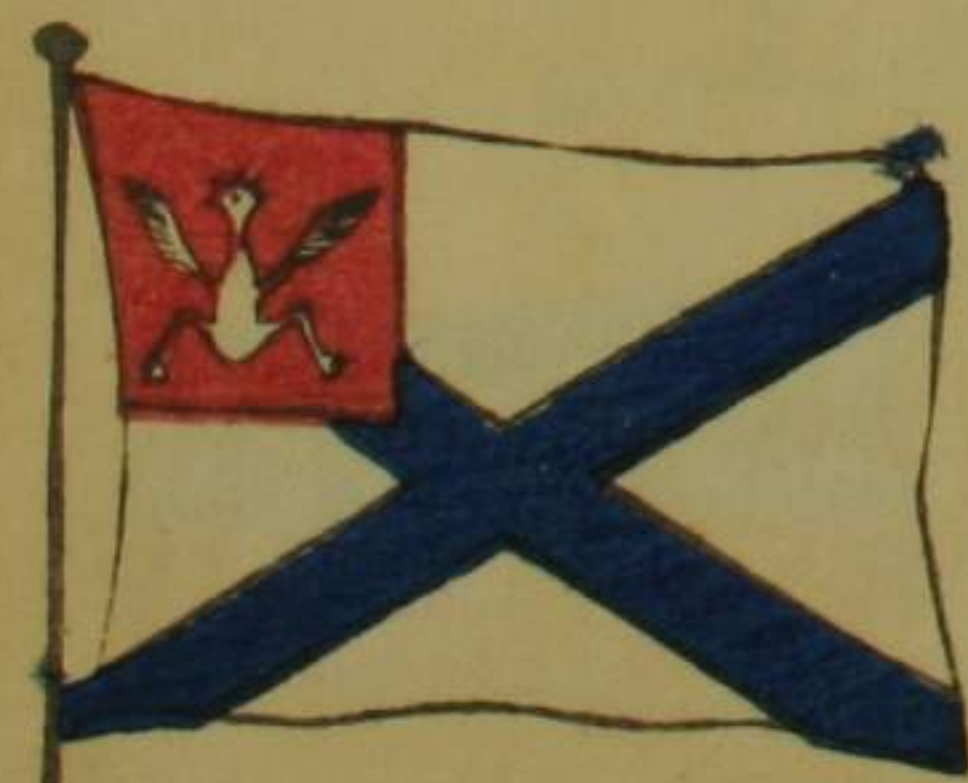
船量測國英



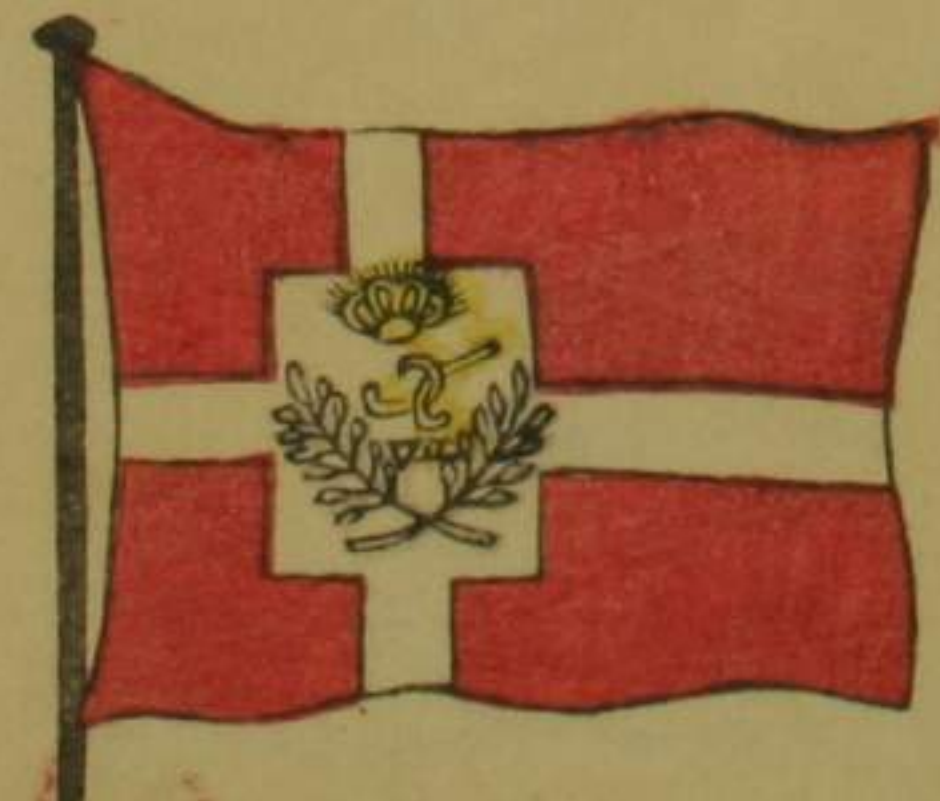
兵一本督度東所英
森旗總印領國



亞泥=羅波



商 上同
舶



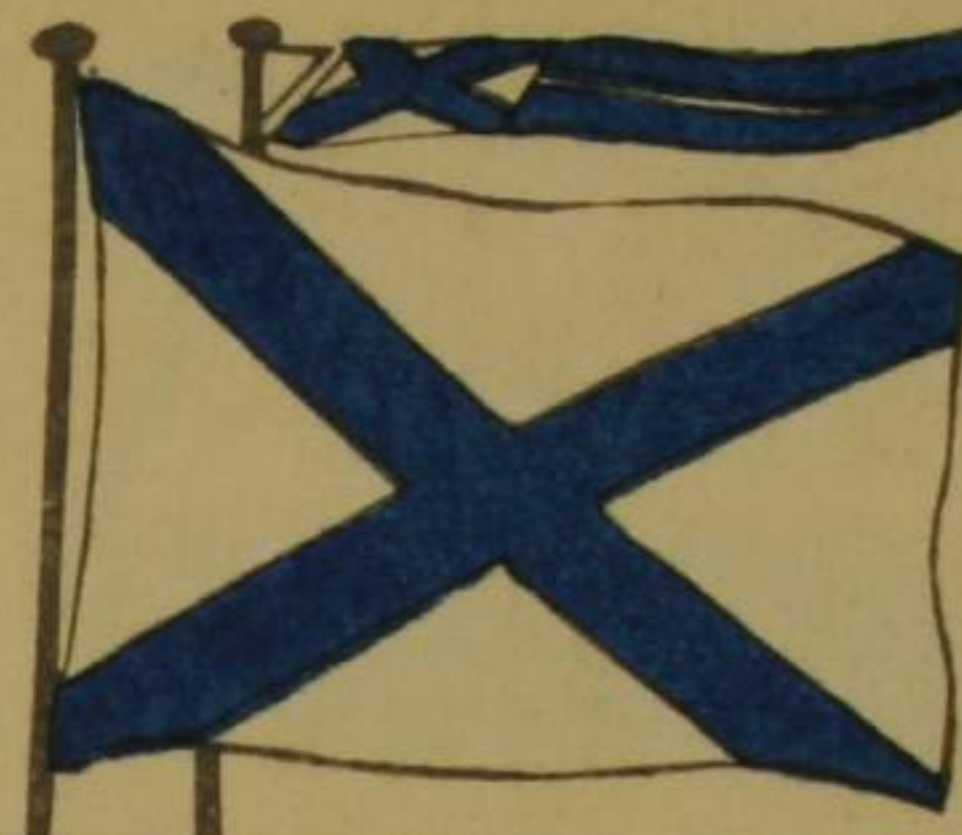
蘭即土蘭爾煙潤
和



商 上同
舶



組船手 上同



督大 上同
旗總



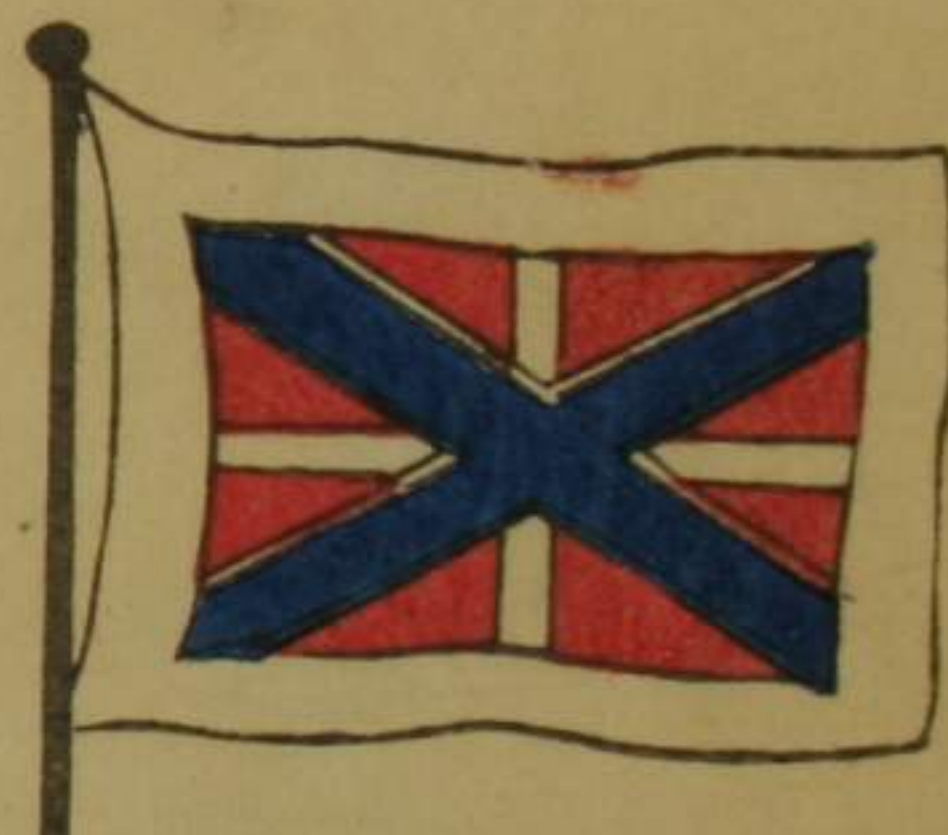
軍艦小 上同
艦即荷



旗鷲頭雙亞西魯



上同



商 上同
船



萬國輿地圖說

亞弗利加洲總括

第廿五年七月一日寄
不詳氏贈

高宗御藏書

名義衆說定確なるべし或曰亞弗利加ハ厄勒祭
亞語より寒氣なりと云義なり此洲多く熱帶

中ニ位を故小是名あり又曰此洲土地肥沃百穀
豊盛なる所多し是を以て他邦人美稱して此

名と命を一説小曰亞弗ハ西語猿の義なり其
上古西客此地の海瀕と航せしとき夥しく猿

猿の群と見ら故又當時此目あり

此洲境界東ハ印度海及び西紅海を以て亞細亞
洲ニ劃リ南ハ大南海小斗出シ西ハ亞太臘海小
面一北ハ地中海ニ至リ其東蘇厄私の一綫縷地
峽を以て亞細亞洲ニ連接セ域中東西二大部と
一又十五國小分ツ氣候總テ熱終歲乾濕二時節
あるのミ邦人凍互冰雪の何物とるを知る者
一惟地中海及び亞太臘山近傍の地ハ間々冬景
と帶ぶるミわ其乾時ハ十月より三月ニ至
るまづ一點の雨露を見ズ其餘ハ連月皆霖雨邦

人預ドめ其時を計リ洪水と山阜或ハ砂地ニ避
ク土地肥沃キテ菓物を植ルニ四十二日
テ皆熟ト其内部ハ山岳及び大沙漠のミ
穀水ニ乏シ故ニ西人其地ニ至ルこと能ハズ其
海瀕の地ハ往古ハ皆波爾杜瓦爾人ニ屬ト近世
和蘭人及び其他の歐羅巴諸州人來テ分領スルカ
處多シ其風俗至テ野鄙通國皆毎ニ裸體又男女
と賣鬻スルの惡風あり○按スル小西洋人本土
の人民を買收シ是を奴僕トスル或ハ金銀坑

の丁と解し又ハ外邦無人の境ニ徙植と云○
域中賊虜多シ故ニ商賈皆群隊と結んで其内地
四方ニ貿易を邦人數種あり今大別して二種と
と曰く本土人種曰く他邦人種其異邦人と稱せ
る者或ハ亞細亞或ハ歐邏巴種其土人又分て九
種とと其人皆蠢愚にして残忍躰軀各々同トリ
らど惟其面色皮膚ハ天資黎黑にして其鼻平塌
一厚脣小目毛髮捲曲と其内身神經の經過と亦
部亦大ニ他の四大州人と同トリ部中流徙

の民多シ水草と撰で部落となと産物金銀諸寶
石香料藥品及び穀物酒胡椒砂糖檳榔樹鳳梨セ
イハ樹鳳梨醇白長六丈ありて枝葉と生ど其形
圓尖幹梢長と十三丈ニ至る異獸畜と産を獅子
虎象駱駝靈猫大蛇一種の猿獠闔州廣袤里方五
十三萬民口一億八千萬餘
阨日多都爾格又隸と封疆南ハ奴皮亞ニ連り
西ハ把爾加小接一北ハ地中海小面一東ハ蘇
厄私地峽と以て亞刺比亞ニ連る國中三大部

小分つ各々都爾格的鎮臺ありて其訴訟と聽
く部中東邊に月山あり數百里に蜿蜒と西邊
に皆大沙漠に隣る惟其内地に土地肥沃あり
て夥しく上好米と産と其首府と諛禄と云人
煙繁昌民口二十五萬百貨ありざる物なく邦
人數種あり就中亞刺比亞種都爾格種歐羅巴
種其最と云又一種あり「コペイテ」名づく上
古より此地に住と其族大率二萬餘人氣候良
和人畜小適と土人大約體質強堅皮膚褐黃天

資善良又伶俐ありて樂易常小農耕と事と
或い工場ありて諸物産と造り此と公斯瑞
低諾波兒小輸と土人惟學術二科小於てい欠
く所ありたりと部中大川あり泥禄と名づく
其源と月山に發し蜿蜒屈曲百二十里遂小地
中海に注ぐ河身夥しく魚と産と此水毎夏渥
時小至まば其近傍諸州小流濫と邦人先づ其
時期と謀りて其害と避く然まども水退て後
膏腴と其地小遺と故に水の多少ふよりて其

年穀と收むることの豊歉とト又地中海小
斗出とくる如小府ありアレキサレテリアと云
其近傍諸州の人此地小至りて交易と為る此
國上古其威勢宏大いせいなりて其文物術藝の盛る
ること今日の比くらぶ非あぞ其尖形高臺趾及び如
々出と處の質汗と以て推知とべし闔州里方
八千八百民口三百五十萬產物穀物砂糖大麻
苧麻とあ旃那葉せん藍蔞刺巴答あ麻林度ま消石りん又一種の
蘆ああり泥祿河ろ畔はん小生せいど邦人其髓ずいと採りて紙

と製せいを強韌きやうにん久くまに堪たゆ獸畜じゆうハ獅子しゆ駱駝らくた虎こ牛う

ひつ羊。驢ろ。騊たう。馬ま。

奴よ比亞ひや北きたハ阨え日多にたに接せつ南なんハ亞毘あび沁域しん小隣せうる
自立王あり兵威へい頗ひんる強盛きやう其政刑せいハ常じょう小典てん礼規れい
度どと設せつけど思慮しりよ小從せうて直ちち小生せい殺ころ褒賤ほうと處しよを
故小國王こ亦また邦家ほうの為ため小死せうせんことを思おもふ此
國一種いの弊風へいあり其王死しせるとと其太子きの
外ほか又またある親族しん男子なんハ皆掩殺あを此こ其後その反逆はんせん
ことと恐おそまて然しかり其王き毎年夏まいの末すえ小至せうままハ自

ら稼穡と試む土人數種あり中奇種あり其人性甚ど蠢愚但捨を遣ふ常不能く人小勾引せられ或ハ軍卒となりて役せらる土地平夷ありて夥しく五穀を産む部内國ありセンナールと云本州の半を占む其周圍里方六十詭祿川東邊と貫流し其地小舟楫を通じべし亦常小亞刺比亞地方より隊伍商來りて交易とる故に人民頗る蕃庶或曰此國今ハ亞刺比亞不屬を闔州廣袤里方九千餘民口二百七十萬產物金銀米酒砂糖椰

子。黑檀。朱。旃。那。葉。牛。羊。家。猪。馬。鱉。虎。亞。比。亞。域。一。名。黑。人。國。封。境。北。ハ。奴。比。亞。不。割。り。南。ハ。ア。テ。ル。ニ。隣。り。其。東。邊。ハ。皆。西。紅。海。小。面。を。國。王。あり。コ。ン。タ。ル。ニ。都。を。人。口。一。萬。餘。其。人。大。約。亞。刺。比。亞。種。あり。て。言。語。風。俗。亦。粗。似。り。部。中。土。地。膏。腴。と。虽。ど。も。月。山。脈。及。び。沙。土。其。ハ。九。ニ。居。る。故。に。民。口。甚。ど。繁。衍。せ。ど。風。俗。男。女。厚。く。ア。ヒ。マ。教。と。奉。む。其。甚。し。き。者。ハ。一。生。涯。男。女。の。交。を。断。り。水。火。の。二。戒。行。と。奉。む。此。國。三。百。年。前。一。霸。王。あり。兵。威。四。

方不震ふ其臣下亦世祿ありて騎兵四萬あり嘗
時西客目して黒帝と云へり闔州人口二百六十
一萬産物黄金象牙香料藥品穀物獸畜等粗陋日
多國小似たり

巴爾巴里亞是亞弗利加洲の北部の總稱と云今
大別して二大部とを一へ分て五大國とるはバ
ルカ「チュニス」「アルギール」「弗沙馬邏可」「ハ沙拉
沙拉ハ亞刺比亞語沙漠の義なり其沙州疆界極
めて大中如々小諸草及び菓物と産し又能く清

水と出を恰も洋中ニ島嶼ありが如し土人水草
と追て轉徙を常し護謨山鹽と合て啖ふ或ハ
曰く此沙漠亞刺比亞小豆り又遠く支那北邊小
連ると云

「バルカ」既日多の西陲小あり今半バ都爾格小
隸し半バ「チリ」ホリニ併せらる土地疲瘠沙漠
其八九ニ居る土人大率皆亞刺比亞人種風俗
常小漁獵或ハ海賊と生とを近十年前ニ至る
まうと西客此地と詳しとる者なり 我天保六

年々當りて佛蘭西輿地家名ハバツコ其地ニ
行旅して大ニ其地形風俗と審れそ其首府と
デル子と云人口六千二百闔州平面里方六千
人口百二十萬或曰二百萬

チリホリバルカ^リの西小あり馬兒太島と相對峙
と國中三部ニ分つ曰チリホリ曰カデヌス曰ヘ
ルサ^リ此地一酋長あり常ニ海賊と生と以其下率
十三萬騎兵其數にあらば迎十六年前ふ至りて
ハ其兵威倍々熾盛ありて軍艦十三艘と所持と

る小至る其府と亦チリホリと云人口二萬病院
及び工場あり諸種の器什と作る其一部ヘル
サと稱と都爾格の鎮所あり其政官とペワカと
云行軍生殺の權皆其手にあり其地中海ニ瀕と
る地巷口數所あり歐邏巴人其地小酋長と置て
其近傍諸州の隊伍商と交易と為と一ニ惟常小
清水るると苦一ニ闔州平面里方八千八百三十
七。人口二百萬

五ニス巴爾巴里亞の一部ありて西ハアルギ

「ルス」は劃り東ハ「チリ」ホリ不接と土地多く
ハ肥沃惟其南部ハ「磽确磊砢」として耕耘とく
うらむど大河あり「メトセラ」と云国の中部と貫
流と其水甘冽毎夏渥時と至まバ其近傍と泛
濫して大小土地と肥沃るるに故小土人稱
して小泥祿河と云其首府海瀕にあり亦「左」ニ
スと云人煙稠密萬家に減びと其府の周圍堅
固の郭門雉堞と設く住人十五萬府内廣大の
工場あり工人常ニ二萬人西洋布絹布皮革

と製し又一種の僧帽と造る歐邏巴諸州の僧
徒好む之と冠ヒざる者ハ其他の産物の極
めて多く亞弗利加洲中互市場の盛たること
此地又如く者るに故小歐邏巴人如々に商館
と築て其産物と聚む部内都爾格的鎮臺あり
一國の政務皆之ハ決スと其官人二あり一と「ア
ガ」と云一と「バカ」と云六月ありて其本國小交
替と其地の騎兵一萬五千歩卒五萬人軍艦二
十近百年前佛蘭西大舉して此地と攻む土人

課金と出して和と乞ふ爾來佛人隨意小海船
と此地に寄る事と得たり其近傍海小船
く珊瑚と採る小艇毎小百五十艘ありと云産
物五穀油獸毛皮革石鹼茜根駝鳥毛鐵蕉
アルキールス「五ニス」チリポリと共共和政
治州ありて皆都爾格に属と土地半ハ沙土半
ハ膏腴氣候常に良和なり惟凱風沙漠と越
て來るとさハ炎熱堪ゆべし其大政官の
都と亦アルキールスと云温泉あり數所小噴

出と皆能痼疾と醫とべし人家四萬民口十二
萬二千餘 我支政十三年の春倭人和蘭と謀
と合し二將員小命ト大舉ト來て此國と擾亂
し大炮數門と発して其首府と灰燼となん土
人之が為小即死とる者百七十二人傷割と蒙
る者救擧とべしと閩州平面方九千産物共
和三州と合とる百物ありざる者久し
馬邏可亞弗利加洲の極北西あり其國祖とモ
ウライア、セスと云二百五十年前其近隣諸州

と合して新小國と立つ其孫心豪傑相續て起り
兵勢倍々強旺国主自ら誇稱して西大君と云西
書亦誤りて帝國ととる者あり風俗国王毎以海
賊と生とと歐邏巴諸州の海船極めて此と恐る
故小毎羊定額の課金と容て其近傍海と往來と
土地最も膏腴人民蕃盛氣候良和又其地小港輿
數所あり西洋諸州人多く商館と置て物産と交
易と其府と馬邏可と云人口二萬五千土人性殘
忍多く馬哈默教と奉ど部中獅坑と設け毎小如

德教の人と投入とと云闔州平面里方一萬零四
百五十民口殆ど五百萬軍人騎歩二萬二千軍艦
大煩四十門より四十五門を開く者二十四艘其
隣國と弗沙と云馬邏可又屬と一府あり國名と
同ト人家七萬殿堂五百逆旅二百家大學校二あり
又府ありメイキニスと云國王毎小此小都と
人口一萬二千土地物産皆馬邏可小似り此州
の平面里方八千産物上好米及び菓穀護護皮革
銅鑛扁挑絹帛酒吉貝良馬

泥^ヌ又^ゴ利^リ西^シ亞^ヤ一名^ニ「子^シカ^カム^ムビ^ビ」是^{コノ}域^キカ^カム^ムビ^ビヤ^ヤ「ゼ
子^シカ^カム^ムの^ノ二^ニ川^カの^ノ間^マふ^ハある^トを以^テ其^ノ兩^ノ川^ノの^ノ名^ヲと
取^リて^テ國^ノ名^トな^スと云^フ其^ノ疆^ノ界^ノ北^ノの^ノ熱^ノ河^ノに^ノ至^リ南
の^ノ為^ニ匿^レ亞^ヤに^ノ接^スと輿^ノ地^ノ家^ノ其^ノ廣^ノ袤^ノと論^ズる^者未^ダど
一^ニ定^ムと^ナる^ハ域^ノ中^ノ上^ノ中^ノ下^ノ三^ノ部^ニ分^ツ各^々君^長
あり^其上^ノ部^ハの^ノ沙^ノ拉^ノの^ノ大^ノ曠^ノ野^ニ近^クして^テ氣^ノ候^炎
熱^堪ゆ^べう^うん^土人^亞刺^比亞^種あり^て性^愚陋^理
義^と知^らず^此地^ニに^ノ啖^咭喇^ノの^ノ商^館あり^地方^の
産^物護^護と^聚ひ^其中^ノ部^ハの^ノ東^西百^五十^里南^北五

十^餘里^氣候^ハ粗^上部^ニ同^シ惟^其土^人の^ノ此^洲固^有
の^ノ「^エチ^ヲヒ^ヤ種^{あり}て^〇黒^人の^ノ義^〇其^面色^最
も^も黎^黒其^人性^愚昧^礼義^と知^らず^其南^北の^ノ地^ハ
言^語互^ニ相^通せ^ど常^小種^藝或^ハ交^易と^生と
其^交易^とる^所の^ノ物^件ハ^近傍^諸州^の人^と掠^め
或^ハ自^國の^ノ婦^女小^兒と^併せて^之と^歐羅^巴人^小
賣^與ふ^西人^之と^已ぐ^奴僕^となり^或ハ^之と^亞墨^利
加^洲に^送り^て新^地と^開拓^せし^域内^加愕^府
の^ノ如^きハ^常小^人と^賣買^とる^の市^{あり}其^政刑^ハ

規制あるところ一酋長隨意小其空一そこに處そ
此地方如く卑濕多し故小旅客病に臥そ者少り
りど但其地平夷の如し五穀諸菓及び吉貝藍
煙草胡椒或は奇異の獸畜と産そ又夥しく金鐵
些少の白銀と出そ其下部ハ風俗土産粗同一惟
其疆界と詳よそり者なく白峯より熱河小至る
廣袤里方五萬と云或はカンビヤ川より「ニ子ツ
川小至る廣袤里方一萬六千と云其説今よ至り
て決定せど域中大河あり熱河と云其源黒川源

と距ること繞小十六里工鄂の大山脈より登り
或は巖壁の間と伏流し或は重山の麓と回轉を
是の如き者殆ど百餘里「コヒナ」に至りて一條の
瀑布となり其風響よ數里外よ轟ぐ其底一面の
巖石あり水花散乱星と噴き怒りて且つ走ること
二十里又瀑布となり其底又一大巖石あり是
よりして水脈分て數支となり中よ二大島及び
數多の小嶼と作る又轉じて西小走り或は穩流
し或は合し或は分れ遂よ亞太臘海小注ぐ然ま

ども其海口廣く僅すくなく小半里こはんりふとゞゞ其川身かわのしんと遡さかのぼ
ること六十里大おほ舟楫ふねと通とほぐべし其島嶼しまのちぢ中城なかぢ
寨都府さいとふあり多半たはん佛蘭西ふらんせいに隸かゝる川水かわみづ清潔せいせつありて
甘味あまみあり夥おほく魚いさなと産うむ域中いきちゆう其内部うちぶ亦大河おほあり
り黒川くろがわと云い其源みなもと及び分注わけつする處ところ今いま小至こりて詳こま
ならずど或あるハ沙中さちゆうに伏ふして亦また祭まつりし或あるハ竭ありて發は
せざる者ものあり或ある日ひ為なるる匿亞灣えいあわんに注つぐ者もの即すなはち是こゝなり
り今いまと距とほること四十九年前よんじゅうきゅうねん前まへ暎咭喇えいげんら人名ななハ「ミニ
ゴとと云い者もの其河源みなもとと究きめんことと欲ほしく行旅かうりょし

其西より東あに注つぐと見みるのこ其翌年よくねん亦また憤い発はして
て諸友しよゆうと辭いして曰いく此行ここのちゆう若ごとし其河源みなもとと究きめど
ハ死しととも休やすまば後のちら其中途ちゆうとより本國ほんこくに書牘てがは
と送おくし後のち絶たて音信おんしんなくと云い闔州かんしゆう人口じんこう詳こまなを
或ある日ひ二千萬にせんまん産物さんぶつ象ぞう野牛やぎう獅子しし駱駝らくだ虎こ靈猫れいみ
為なるる匿亞泥えいあに又また利祭亞りさいあの西南せいなんにあり獅山しうざんと界かを其
疆界きやうがい極こめて大おほ氣候きこう炎熱えんねつ土人どじん面色あな黧黑れいこく土地ち沙石させき
と交まゆ又また夥おほく獸畜じゆうと生なむ其中ちゆう往々むじむじ奇異きいなる
者ものあり一ひと鉅鳥きよてうあり形かたち狀じやう極こめて大おほ其翼つば垂た天てんの雲う

の如し其飛揚とるるとい日光と掩ふ名づけて
ブリコクスハア子」と云又巨蟒あり長と三丈
餘部中如々異土あり邦人採て垢物と洗濯と其
効能殆ど石鹼（石鹼）不増とる此国其往昔波爾杜瓦爾
小屬と後和蘭人之と追て已ぐ所有となると近世
に至りてい暎國佛国弟那瑪爾加等も亦此地小
高館（高館）と置と産物と聚め又土人と買て亞墨利加
州小移植と其數毎年十五萬其往昔より今小至
るまづぐ大約（大約）五千萬に及ぶと云首府とアホとい

と云人口二萬四千餘産物米砂糖吉貝瓜胡椒
那藍鳳梨烟草穀類銅沙金象牙豹獅子象猿數種
の鱉魚椰子と生とる最も多し其樹幹喬く直立
し枝と分とが處々塊節多し但其梢上（梢上）に至りて
長葉と叢生と其實大と梨子の如し其初熟の時
い内小夥しく水液と含じ土人之と飲料と為と
果熟して後液と搾り物と煮る味極めて佳なり
其核子味亦全果と異なる事なり或い此液と以
て酒酢又い火酒と製と其内皮い箱桶と造り外

皮ハ繩索と成る又其葉と編で帆と織り屋と膏
べー其核節ハ搗て紙不製と其幹戰艦と作るべ
一故又邦人此樹と贊稱して地下の造物主と云
其諸般の用ニ於て欠く如うと云て也
工鄂一名下為匿亞と云黒地瓦皮亞海岸ニあり
北ハ為匿亞ニ隣り南ハ曷ハ蘭土ニ至る今分て
六部と云但其内地ハ大山脈北より南ニ蜿蜒一
其支別又如々に蟠屈と云と以て西人其地理と
審にとる者々一部中大川あり「サイレ」と名づく

其川身極めて大昔西人誤りて泥又爾川と同源
なりと云近二十八年前英人其内地ニ遊行して
始めて其非なりとと辨じ此地熱帯中ニあり
と虽ども毎ニ海風雨露の施をこと多きと昼夜
平等なりと云以て苛熱病と萌生と云ニ至らば
故に波爾杜瓦再人此地の一部を奪領して總督
と置き其地方の産物と交易を土人形體矮小色
澤黧黒ありて純に黄赤と帯ぶるのニ其毛髪ハ
蹠曲して薄層大齒風俗野鄙世ニ鬼神ありと云

知らるる常に農耕と生々間々器什と造る惟家
屋ハ歐邏巴の規制と模擬と産物金銀及び獅子
と上とと又大象と産と其形體極めて大印度及
び他の地方は産する如の者より比すれば優に三
倍と云故に其牙の大方者ハ重と二百斤ふ
及ぶあり其質皆堅緻ありて器物及び彫刻と作
るは妙なり其他ハ皆近隣諸州ハ殊なる事なり
曷布爾蘭土譯して云へハ神佛と尊信せざるの
謂なり氣候ハ南部喜望峰ハ近き所ハ常ハ良和

ありて人畜不可なり然るとも其北部ハ炎熱堪
あべうらど土地總て曠野間々五穀と産する處
あり其喜望峰と稱する地ハ本といハ和蘭ハ隸と
今ハ英吉利ハ屬と人家一千二百其人種數四あ
り第一ハ和蘭種第二ハ佛蘭西種第三ハ英吉利
種第四ハ支那種其地の西北一種人あり福天突
甸と云天資極めて愚風俗亦甚と野なり産物粗
近隣諸州ハ同ト
馬拿莫太巴疆界曷布爾蘭土の東にあり部中駁

穀物と産と其首府とツハラと云人戸二十
百貨ありざること々々其近傍モノモギ國人此
に來りて互市と産物金銀沙糖獅子象鱈魚
贊西拔爾其地疆界東ハ印度海ニ瀕一西ハモノ
モギニ至る國中君長一なりと土人薩暴野鄙小
して邪佛と尊信を一部波再杜瓦爾ニ屬と。按
ずる小西書曷布爾蘭土馬拿莫太巴及び此國の
事實と記する者一定でず問々新説あるも大ニ
其地名と殊りと故小先づ姑く舊説と擧ぐ後新

渡の善本と得ハ須く之と補正とべし
麻打曷矢加爾印度海中ニある一大島と云其廣
袤里方一萬零五百箇部中大山脈あり北より南
小竟る其形勢に從て全島と二大部と分つ其瀕
海の地の五穀豐饒ありて街衢部落あり惟其内
地ハ人烟寥寥沙漠曠野のこみして穀物ニ乏し
氣候頗る炎熱土人二種あり皆面色黎黑身材中
等其性々々勇偉なり山上小い夥しく異木靈艸
と産と今と距ること二百年前佛蘭西人此地小

人種と移し又城寨と築き已まぐ所轄ふ為らん
ことと謀りしうども遂ふ功と全ふせざりて止
む後嘆咭喇人其企とたり亦志と遂ぞりて引去
る土人如德亞宗と奉信する者多し闔州人口諸
説一定せど或曰く二百五十萬一説ふ曰く四百
萬土産吉貝蠟鐵

ホウルホシ島の麻打加斯瓦爾国の南ふ在り廣
袤里方三百箇に過ざると方今の佛蘭西國の埔頭
ふ係ると云其風俗言語の皆佛蘭西國の鬚鬚と

ろと以て西洋諸州人の印度諸州と航する者喜
望峰ふ仍らざれば必し船と此地の港脚ふ入を
先づ印度の動靜と聞と或は風信と待ち而して
後ふ發とと云

聖多默諸島是為匿亞灣と距ること七十里ふ
して西海中に雜落しるる數十島と總べ云な
り皆波爾杜瓦再國王と臣服と往時名譽の大
城ありしに百年前佛蘭西人と交易の事より
争鬪と始め遂は是が為と陥らる後和議なり

地の舊小復とと虽ども城地の燹破して居る
べうらうど今い空しく狐狸の有とぬる其近傍
數十島と合して人民七十二萬餘人産物椰子
及び生薑と上とと

聖意勅納い黒地瓦皮亜海あり英吉利に属

と我文化十二彼十月十八日英人佛國偽帝
那波礼翁と捕へ其妻子及び奴僕九人と併せ
て此島に放流と後六年彼五月五日に卒と嶋
中廣と三時行衰四時行餘あり部中巖礁多し

と雖ども亦能く五穀と産を閩州村落七十餘
人口三千餘此州往古に波爾杜瓦爾に属と
福寫此其近傍十二島と總べ云なり此地中帶
直下りて氣候良和昔時佛蘭西國王東西經
度線と始りて此地より起と再來今ふ至りて
西洋諸州人多く此に准用とと云就中最大
島嶼四あり一曰福島二曰テ子リ一ハ三曰バ
アルマ四曰鐵島。輿地全圖東西經度の起る
所なり。皆伊斯波泥亜に属と

○歐邏巴之内。都爾格的補

邦人自稱して「オトマニセレイキ」と云。按じ
るに「オトマニ」を其國の業祖名「レイキ」の國

本州 我天保元年に當て俄羅斯と大小戰鬥あり
邦人是が為に死亡する者甚ど夥し故に當時

關州の人口軍兵の數と記する書皆異同あり天
保五年に至て其政官民口と詳記して國主の上

祭亞人と合して云也。蓋し此數は其本國の民
其數一千六百八十萬。按じると是數は厄勒

口と云なり軍人の如き騎馬十二萬遊軍騎兵
四萬歩兵七十萬遊軍歩兵六萬九千大煩二千百

五十六の是數は礮臺に豫備せられたるものを除て云
○槍銃大約七萬火繩銃一萬餘旗章の三半月と

用ふ其都府公斯瑞丁諾波爾の歐邏巴洲よりて高
名の舊都なり。邦人の此府を「スタムブール」と

云。府内好輿脚あり人家整列し櫛比し數里の
外小達を其繁昌推知とぐ。此都往古に羅瑪泥

亞人稱譽して「ベールケルチム」と云。紀元後三百零

五年の頃公斯璫丁大帝此近傍諸州及び亞細亞
亞弗利加を領せし時。按ずる小二州共ニ其一
部分を領せし帝都を此地に定め新ニ土木の役
を起し五年を経て市街政廳城寨を再修を是に
於て其美整繁盛皆往古に増る因て府名を更め
王名に拠て此名を命じ此時に當て帝の領域極
めて浩大ありて百事繁冗たるを以て此府を東
都と名し羅馬の意太里亞首府の名に西都と
ありて共ニ大政廳を置き閩疆の政治を為す

とあり爾後帝の孫胤其餘光を受け此地に王と
ること殆ど七百五十年。我康平二年の頃小至
りて一千零五十八年の「フランデレン」の此
地方今「ベルギー」国王小属を酋長小掠略せ
らる。我享徳三年の一千四百五十三年の彼の
三月廿八日小當て馬哈默弟二世王の爲小擾乱
せらる遂に其所有となり今の都爾格帝の其血
統の孫裔なり
本州處々の堡城寨柵の築造甚ど麤略ありて堅

固^ごなるも 我文化五年〇一千八百七年〇英船
其要害の懼^{おそ}るに足らざるを察知^{さつち}し縦^{たて}に港内
と往還^{きうかん}し人家と擾乱^{じゆうらん}を邦人砲臺より大煩^{おほわづら}と発
せといへども一彈^{ひとたま}も其功^{そのこう}を為^なす者^{もの}なく煩^{わづら}手切^て
齒^{かみ}をきども亦如何^{いかに}ともさること^{こと}ぬ 是^{こゝ}に於^おて
政官悔恨^{せい官悔恨}し新^{あらた}に兵學^{へいがく}者^{もの}を命^{めい}じ如^{ごと}く小堡寨^{せうぼざい}と城^{しろ}
を又^{また}大礮^{おほいしやう}を製造^{せいぞう}し略^{りやく}歐邏巴^{おうらふ}風小擬^{ふうせうぎ}を云^い其砲^{はう}
臺^{たい}の矢眼^{やがん}は大約^{たいてう}平地^{へいぢ}ありて彈丸^{だま}直^{ただ}に水面^{すゐめん}と爆^{はく}
射^{しや}せむべし元來^{もとより}此州^{このしゅう}の砲臺^{はうたい}は皆^{みな}高處^{たかところ}ありて水

面^{めん}と射^{しや}ること能^{あた}りど是^{こゝ}に英人^{えいじん}の侮^{あやう}を取^とる所以^{ゆゑ}也
我天保十五年^{てんぽうじゅうごねん}国王^{こわう}又魯西亞^{ろしや}より築城^{ちくじやう}學^{がく}小長^{せうぢやう}
びる者と募^{まう}り諸寨柵^{しよざいさく}の製^{せい}と一新^{いっしん}し往古^{わうこ}より所^{ところ}
持^もとり如^{ごと}く農砲^{のんぱう}再び鍛煉^{たんれん}して佳材^{かさい}と為^なせし
と云^い其寨柵^{ざいさく}二方^{にほう}の海小面^{うみせめん}を一^{ひと}に亞細亞^{あしあ}諸州^{しよしゅう}の
方位^{ほうい}より來^きる者と防^{ぼう}禦^ごし一^{ひと}に歐邏巴^{おうらふ}地方^{ちほう}より
來^きる者と防^{ぼう}ぐべし其寨柵^{ざいさく}と築^{ちく}く如^{ごと}く地名^{ちめい}
英人^{えいじん}の記載^{きざい}に據^よるを小舉^{せうぐ}ぐ
亞細亞^{あしあ}小面^{せうめん}より海岸^{かいがん}の堡城^{ぼうじやう}

「クレムキレスルの堡ハ砂地ニ造營と之と亞細
亞防禦の新城と稱と地中海より入る海門の南
部ニあり迎農礮八十門臼礮四座と備ふ中ニ就
て迎農十六門ハ最も偉大なり其下の十八門ハ
二十四ホレドの彈丸と射出をぐー。新製一ポ
レドハ我二百六十六錢ニ丁る
バルバリ」の堡寨ハ迎農礮十四座と備ふ但是
煩ハ皆小形なりと云
「エルトタニ」カリ」の堡ハ亞細亞洲ニ對峙と

る古城より其地勢ハ殆ど歐羅巴防禦諸寨ニ相
反背する所ニあり其築城の堅實要害の峻峭近
づくべしとざること亞西亞防禦諸城ニ冠たり
其礮臺の矢眼より水面と隨意ニ射激とぐー又
此地ニ洪河奔流して波濤倒山の勢となりて多
島海中に激瀉を又子城ニあり緩急互ニ相應ド
本城の援とぐー大煩一百六十二座中ニ就て最
大なる者ハ其口径二十六ドイムあり。ドイム
ハ我三分二厘餘。此煩總て十八門他州船隻

此港脚こくわふ入るふい其法度そと嚴重げんじゆうなり其法そと船隻ふね此
港みなと入いる以前いぜん其人ひと入港いこうの情由じゆうと此地このちに住居すまひ
する政官せい官に達いたし又大政官おほせい官に請こたひ其准しゆんと得えて後
始はじめて錨帆いかりと下くだる其海門うみかどの廣ひろさ殆たいていど一里いちりに及およぶ
キスイブールキスイブールニユムニユムの堡とりでハアヘードスアヘードスの〇地名なづな
詳こまなうべ〇極南地きよくなんちにあり寨内さいない大煩おほわづ四十六座しじゅうろくざと
備そなふ其港口みなとぐちの廣ひろさ僅わずかに十二三丁じふにさんぢやうに過とぎざり
以もつて此岸このしより発はつする矢丸やまる直ただふ彼岸あなはたに達いたると是故ゆゑ
小矢眼こやがんの比列ひれいとすること甚たど精密せいみつなり又要害やうがい堅かん

固かたの地ちより

メガラブールメガラブールニ一の堡とりでハ我文政四年わがぶんせいしやうの〇一
千八百二十年せんぱちひゃくにじゅうねん造築ぞうちくに係かると云大小礮おほくちやう十四座じゅうしつざを
備そなふ

歐邏巴おうらつぱ小面せうめんより海岸うしづみの堡城とりで

スカインケルスカインケルリーの堡とりでハタルダ子ルたしるレシレシの〇
地名なづなの外面うへめんにありて大煩おほわづ十五座じふござを備そなふ
シルチルバルシルチルバルカリシカリシの堡とりでハ多島海たしまいの港口みなとぐちに
あり之これを歐邏巴おうらつぱ防禦ぼうえいの新城しんじやうと稱なづを大煩おほわづ七十座しちじゅうざ

白形礮四座を備ふ

正スキーサルリーキの堡ハ迦農礮十二座を備ふ此地ハ上ニ云新城と距ること遠クバ

キルリチーハル」の堡ハ往古より歐邏巴と防ぐ為ニ築ミタリ

とナリ其地ニ住居スル者ハ皆都爾格種の人ニリ六十四座の大煩を備ふ中ニ就テ最も偉壯の

大礮十八門あり石彈至大の者と放發スベシ此寨ハ表裏共ニ礮墩あり裏面の礮墩ハ僅小十年

内の造築ニ係ると云其南部ニ對スル礮墩ハ大

煩四十六座北部ハ三十三座と備ふ

キヤニリーブルニー」の堡も亦十年以内の造築ニ係る其南部の灣口小迦農礮三十座と備ふ

ボハルリーカリエ」の堡も近來の築ク所此城ハ歐邏巴防禦諸寨中ニ於テ土地甚ダ後邊小あり大煩五十座と備ふと云此と本州海岸防禦の

大約と云

獨逸

此大州の疆界北ハ窩々所德海○即東海○第那
瑪爾加及び「ラールド海」ニ限り○東ハ「李漏生波」
羅泥亞翁加里亞ニ界一南ハ勿搦祭亞灣「ロムバ
ル」テース勿搦祭亞領及び赫勿葦亞小至リ西ハ
佛蘭西「ベルギー」涅埤爾蘭土等小接そ其廣袤一
萬一千六百六十箇里方積地形ニ隨テ上下二部
小分つ其上獨逸ハ北緯四十五度より五十一度
に亘リ土地高崇大約山嶽のこみて諸穀と牧
むべり〜下獨逸ハ五十一度より五十五度小

至る土地膏沃ありて平原多し州人歸依する法
教ニあり一ハ羅馬教其徒一千八百萬人一ハ「エ
ハ」シゲリ教其如德教と奉むる者至て僅りとん
大山ハ「チイロル」牙爾白「サルセ」牙爾白「スチー」ル
マルクセ「牙爾白」ラリセ「牙爾白」ユリセ「牙爾白」セ
リシチセ「牙爾白」其高と皆一萬四千尺小下ら
ど大河「ドナウ」列應「エルベ」ラ「デル」と最とを小川
「イル」レ「ル」レーゲと等の如きハ牧擧とを〜
大湖ハ「ボ」デ「ン」海一名「コ」レ「ス」タ「レ」チ「湖」シ「ー」エ「ム

海「ルキニートセル湖」タラウシ海「ウナルム海」ア
シメル湖「ワルセル湖」ステイシビュデル海其下小
湖六百水あり

獨逸連合諸州兵勢總説

此連合諸州より軍人と出とい一定の法度あり
人民百口より壯者一人と取る其他又豫備の農
兵あり是ハ二百人より一と取る此豫備兵と分
て三とと身一ハ本軍の敗とる及て直ニ其兵
ふ代る身二ハ本軍敗とる後大約四十九日あり

て始々軍装と整へ第一小戦死せし者の不足と
補ふ其三の兵も時空又應じ四十九日ありて又
出戦を此法より挙用しより軍人と 我文政二
年小總括より記載小據をバ三十萬零二千二
百七十二あり但し此數ハ甚ど籠略ありて未ど
一定とるるに爾來諸州大約泰平なりと以て人
民日々蕃殖し 我天保五年小至てハ軍人增多
し三十六萬二千八百十五に至る是と文政二年
の記する所の數と比較しとハ増數六萬零五百

四十九とある然れども此定額の數ハ平定軍旅
の時ふあり其大戦争の時ふ臨でハ此律を以て
論どぐりぐり故又軍人と出その數定額ふ増加
そ○按ざるふ勃那拔爾的の此州ふ乱入せりと
さハ軍人と出そのこと平世の法度又三四倍せり
○我文化十三年勿能府の○獨逸帝都○朝報と
見ろに獨逸の近傍諸州ふある王國侯國以下數
十主と合して獨逸連合州となす然れども各國
皆獨立ありて獨逸は附屬するふ非ど但敵國外

患あるの時ふ當てハ獨逸の「フランキホルト」の
○地名下見へり○「マイン河畔」來會ハ獨
逸帝を盟主となして征伐軍旅及ハ成敗得失を
論定を但し其各國主の位階及ハ國の大小軍人
と出その多寡に隨て其事を論定するも亦輕重
あり假令ハ獨逸字漏生等の一國主言を發して
議定する時ハ他の四國主の論定するものふ對
とるべし是を一議當四の國と云○原語「ヒールス
テンメン」と云按ざるに「ヒール」ハ四なり「ステシ

メシハ議判ぎはんなり以下同トノ故一議ぎ當四の主
一事を決定けつぎして可うなりと云時ハ一議國主こくしゅノ下
不見みゆゆノ三人同心どうしんして之を肯あへんぜぜと云ととと決けつ
して其言そのことば更あらたること能あたりたりども五人之を肯あへんぜ
ざる時ハ當四國主こくしゅも之それグ為なる辭ことば屈くつを此餘一議
當三たか一議當二ふたの主あり今其列國れつこく君主こんしゅの位階ゐかひ人
員いん軍兵ぐんべいの多寡たふら及び 我文政二年わぶんせいにより天保五年
不至こるままく十五年の間ご増殖ぞうじくする所ところの兵數へいすう等
と以もつて小表こひょうとなりて下した列國れつこくを

窩々わわ所ところ旬じゆん禮らい畿きノ即獨逸どいつ帝てい本領ほんりやう

一議當四 人員一千零九十六萬四千二百九
十五口 兵卒十萬零九千六百四十三 兵卒
増數一萬九千八百二十一いん口

李り漏ろう生せいノ王國わうこく本篇ほんぺん不見みゆ

一議當四 人員一千零々八萬一千二百十四
兵卒十萬零々八百十二 兵卒増數二萬千八
百七十八

ベイエレンべいえれんノ王國わうこく廣袤くわうばう千五百箇里方積せうせき世繼よつぎハ

血統の男子首府と「シエンセン」と云人口六萬
一議當四 人員四百二十三萬八千二百零五
兵卒四萬二千三百八十二 兵卒増數六千百
八十一

沙瑣泥亞^{サロニヤ}。王國廣袤三百六十箇里方世嗣ハ男
子首府と「ミスセ子ル」と云人口五萬

一議當四 人員百四十三萬五千六百七十六
兵卒一萬四千三百五十七 兵卒増數二千三
百五十七

ハノールフル。王國廣袤六百八十四箇此州ハ十三
國と合して今の國名とを世嗣ハ男子なり

一議當四 人員一百五十五萬七千九百口
兵卒一萬五千五百七十九 兵卒増數二千五
百二十五口

ウルテムベルグ。王國廣袤三百五十箇首府と
「スウツトガル」と云人口一萬六千世嗣ハ男
子なり

一議當四 人員一百五十九萬四千六百七十

一 兵卒一萬五千九百四十七 兵卒増數一
千九百零一

バーテンの大公國按る小原語大赫督撫と云
前輩義譯し公と為る故に今大公と云

一 議當三 人員百二十二萬三千五百八十四

兵卒一萬二千二百三十九 兵卒増數二千二

百三十六 人員一百五十五萬三千八百

リキセンヒュルグの大公國按る小此國和蘭に
屬を故し和蘭王此國の大公官を兼ね

一 議當三 人員三十一萬一千七百三十九

兵卒三千一百十七 兵卒増數五百六十一

へスセシの大公國 兵卒増數五百六十一

一 議當三 人員七十四萬七千九十八 兵

卒七千四百七十一 兵卒増數一千二百七十

ホルステインの大公國弟那瑪爾加爾屬を故し

弟那王此州の大公官を兼ね

一 議當三 人員四十二萬六千八百零一 兵

卒四千二百六十八 兵卒増數三百六十八

キウルヘツセシノ爵位詳をくど按どるにキウ
ルハキウルホルステンドムと云義

一議當三 人員六十五萬二千二百七十一
兵卒六千五百二十三 兵卒増數八百四十四
メクレシビュルクスウリシノ大公國

一議當二 人員四十五萬五千零三十二 兵
卒四千五百五十 兵卒増數九百七十

ブリュニスウエーキノ公國按どる小原文赫督撫今
公位小當て大公國の下又列と

一議當二十 人員三十五萬 兵卒三千五百
兵卒増數一千五百九十六。此國の兵卒増殖
甚ど多

ナスサウの公國

一議當二 人員三十六萬三千六百三十三
兵卒三千六百三十六 兵卒増數零八

サキセシウエイマルの大公國

一議 人員二十三萬三千八百十四 兵卒二
千三百三十八 兵卒増數二百三十八

メクレンブルグストレルリツの大公國

同上 人員八萬六千三百三十三 兵卒八百

六十三 兵卒増數一百二十一

サキセンゴタターの公國

同上 人員十五萬四千三百十八 兵卒千五

百四十三 兵卒増數七百四十三

サキセンメーニンゲルの公國

同上 人員十三萬七千四百六十三 兵卒一

千三百七十五 兵卒増數八百三十一

サキセンマルテシビュルグの公國

同上 人員十一萬五千一百八十九 兵卒一

千一百五十二 兵卒増數八百五十五

ヲルテシビュルグの公國

同上 人員二十五萬八千七百零二 兵卒二

千五百八十七 兵卒増數四百零九

アナルトテスサウの公國

同上 人員六萬一千二百〇 兵卒六百十二

兵卒増數八十三

アナルトベレシビュルゲの公國

同上 人員四萬零八百 兵卒四百八 兵卒

増數三十八〇一本兵卒六百八十騎馬七十と

あり但し是數は定方軍人ふありと

アナルトコーテシの公國

同上 人員三萬六千七百二十 兵卒三百六

十七 兵卒増數三十二〇一本は歩兵四百騎

兵五十三

スワルスビュルグリュドルス多トの候國原名豊瑟

督國今義譯して候と為

同上 人員六萬二千 兵卒六百二十 兵卒

増數八十一の一本歩卒八百騎兵二百是數ハ

外寇其境不擾乱セーとの記をらん

スワルスビュルクワシテルサウセシの候國

同上 人員五萬二千二百八十四 兵卒五百

二十三 兵卒増數七十三〇一本兵七百煩手

三百人と記を

ホーヘンワルレルコヘシゲレの候國

同上 人員二萬千五百 兵卒二百十五 兵
卒増數七十。一本兵卒二百二十 煩手三百四
十人と記せり

ホウヘンステシクマリシゲシの候國

同上 人員四萬二千七百六十七 兵卒四百
二十八口 兵卒増數五十八

リクテシステインの候國

同上 人員六千五百五十 兵卒六十一 兵卒
増數六口。此國の増殖ハ甚ど寡一本兵卒

一百十口と記せり

レウス古タツク。候國本兵卒五百六十
同上 人員二萬五千 兵卒二百五十六 兵卒
増數四十四

レウス新タツク。候國一本新古俱候國の
下列小班と其是非を知らん

同上 人員五萬九千九百三十 兵卒五百九
十九 兵卒増數六十一。一本レウス新古隊
共々騎兵多しと記せり

リッペデドモルド 人員七萬九千七百八十六
シカウシビルクルッペ 人員二萬三千五百九十
兩國兵卒合して一千零三十四 兵卒増數一
百零四 二主共小一議。一本歩卒九百騎兵
三百零七煩手七百と記せり
ワルズッキ。候國

同上 人員五萬六千五百 兵卒五百六十五
兵卒増數四十六。一本兵卒五百六十七煩手
七十五騎兵五十頭とゆり

ヘスセンホンビルク。候國

同上 人員二萬二千九百 兵卒二百二十九
兵卒増數二十九。一本兵卒三百中就て一
百名礮手の一百名騎馬とあり

リムベツキ。候國

同上 人員四萬六千五百零三 兵卒四百六
十五 兵卒増數五十九口。一本兵卒五百煩
手の一百二十騎兵七十頭

フランキフルト。候國是地ハ連合諸國王會議

の如く獨逸本條不見ゆ

同上 人員五萬四千 兵卒五百四十 兵卒

増數六十一。一本兵卒五百四十 煩手二百名

騎兵二百五十七と記せり

ブレーメンの候國

同上 人員五萬二千 兵卒五百二十 兵卒

増數五十五。一本兵卒五百十一 煩手百六十

騎兵七十八 老鍊騎兵二十七

ハムブルクの候國

同上 人員十五萬 兵卒千五百 兵卒増數

二百零二。一本兵卒一千五百中ふ就て煩手

五百三十名騎兵二百名とあり

ゴツタ國ハ近世連合州の會盟中よ加らど闔州

人員總計三千六百二十八萬一千五百七十八兵

卒三十六萬二千八百十五 増殖兵六萬零五百四

十九より其他各國皆豫備の兵卒と出ること人

員の多小ふ隨て二百人より一人と擢ぐ是獨逸

連合諸州より兵勢と出ることの大略なり 若夫強敵

境小遍り礮聲城と震とふ至つてハ何ぞ雷平常
の擢法と用ふりのそなりんや闔州三四十分の
一ハ皆兵卒と為とぐべし

次卷亞細亞洲の部

出來

豪斯多刺利の部

嗣出

萬國輿地圖說 亞弗利加終

五百三十五部共二百五十五部
二百零二部一平共平一十五百中七部丁賦十

